

レディーミクストコンクリート配合計画書

平成27年 1月20日

田川セメント工業所 殿

工事名称： 自社二次製品

現場住所： 久留米市荒木町今

日本工業規格表示認証工場

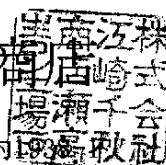
認証番号 第GB0807279号

株式会社 江崎千秋商店

瀬高生コン工場 みやま市瀬高町河内183番地

TEL (0944)-63-7890

FAX (0944)-63-8350



コンクリート圧縮強度試験成績書

平成27年 1月16日

田川セメント工業所 殿

福岡県みやま市瀬高
株式会社 瀬高生コン
瀬高生コン株式会社
瀬高生コン株式会社
瀬高生コン株式会社

工 名	事 称	自社二次製品									
打込箇所											
呼 び 方	コンクリートの種類による記号		呼び強度		スランプ 又はスランプ フロー cm		粗骨材の最大寸法 mm		セメントの種類による記号		
	普通		27		18		20		N		
指 事	定 項										
採 取 月 日	試 験 月 日	材 齢 (日)	番 号	スランプ (cm)	空気量 (%)	温度 (℃)	最大荷重 (kN)	強度 (N/mm ²)	平均強度 (N/mm ²)	摘 要	
12/19	12/26	7	1	18.0		16.0	161	20.5	20.5	標準養生	
			2				157	20.0			
			3				164	20.9			
12/19	1/16	28	1	18.0		16.0	255	32.5	32.4	標準養生	
			2				252	32.1			
			3				257	32.7			
備 考											
供試体寸法 φ100×200											
										担 当 者 池田 寛	

No. _____

田川セメント工業所 殿

工 事 名 称 自社二次製品

所	在	地	久留米市荒木町今
---	---	---	----------

納入予定時期

備考

レディーミクストコンクリート配合計画書

No.

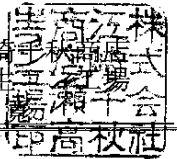
平成27年 1月20日

田川セメント工業所 殿

製造会社名・株式会社 江崎セメント株式会社

瀬高生コンクリート株式会社

配合計画者名 池田 隆高 秋社



工 事 名 称	自社二次製品											
所 在 地	久留米市荒木町今											
納 入 予 定 時 期												
本配合の適用期間 a)	(標準配合)											
コンクリートの打込み箇所												
配 合 の 設 計 条 件												
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ 又はスランプ フロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号							
	普通	27	18	20	N							
指定事項	セメントの種類	呼び方欄に記載		空気 量		— %						
	骨 材 の 種 類	使用材料欄に記載		軽量コンクリートの単位容積質量		— kg/m ³						
	粗 骨 材 の 最 大 寸 法	呼び方欄に記載		コンクリートの 温 度		— °C						
	アルカリシリカ反応抑制対策の方法 b)	A		水セメント比の目標値の上限		— %						
	骨材のアルカリ反応性による区分	使用材料欄に記載		単位水量の目標値の上限		— kg/m ³						
	水の 区 分	使用材料欄に記載		単位水量の目標値の下限又は目標値の上限		— kg/m ³						
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載		流動化後のスランプ増大量		— cm						
	塩 化 物 含 有 量	0.3 kg/m ³ 以下										
呼 び 強 度 を 保 証 す る 材 齢												
使 用 材 料 c)												
セメント	生産者名	太平洋セメント株式会社		密度 g/cm ³	3.16	Na ₂ Oeq % d)	0.63					
混和材①	製品名	—	種 類	—	密度 g/cm ³	—	Na ₂ Oeq % e)	—				
混和材②	製品名	—	種 類	—	密度 g/cm ³	—	Na ₂ Oeq % e)	—				
骨 材	No.	種 類	産 地 又 は 品 名	試験方法 f)	粒の大きさの範囲 g)	粗粒率又は実積率 h)	密度 g/cm ³ 絶 乾 表 乾	微粒分量の範囲 % i)				
	細①	砕砂	熊本県玉名郡和水町産	A 化学法	5以下	2.85	2.96	3.00	4.0±1.0			
	骨②	山砂	熊本県玉名郡南関町産	A 化学法	5.0	2.70	2.52	2.56	3.0以下			
	材③	—	—	—	—	—	—	—				
	粗①	碎石	熊本県玉名郡和水町産	A 化学法	15~5	—	3.05	3.07	0.5±0.5			
	骨②	碎石	熊本県玉名郡和水町産	A 化学法	20~10	60.0	3.06	3.07	0.5±0.5			
	材③	—	—	—	—	—	—	—				
	材④	—	—	—	—	—	—	—				
混和剤①	チューボールEX-50	AE減水剤(標準形 I 種)				Na ₂ Oeq % j)	0.8					
混和剤②	製品名	—	種 類	—		Na ₂ Oeq % j)	—					
混和剤③	製品名	—	種 類	—		Na ₂ Oeq % j)	—					
細骨材の塩化物量 k) ①0% ②0.003% 水の区分 l) 回収水(上澄水)・地下水 目標スランプ 固形分率 m) — %												
配 合 表 n) kg/m ³												
セメント	混 和 材	水	細 骨 材			粗 骨 材			混 和 剤			
	①	②	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
368	—	—	184	360	540	—	498	497	—	1.656	—	—
水セメント比 50 % 水結合材比 o) — % 細 骨 材 率 50.5 %												
備考	骨材の質量配合割合、混和剤の使用量については、断りなしに変更する場合は、					骨材混合比 (質量混合)		細骨材①:②		40.0:60.0		
								粗骨材①:②		50.0:50.0		

アルカリ総量の計算表 q)			
アルカリ総量の計算		判定基準	計算及び判定
コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rc $Rc = (\text{単位セメント量kg/m}^3) \times (\text{セメント中の全アルカリ量Na}_2\text{Oeq:\%/100})$	①=Rc 2.318	—	$Rc = 368 \times 0.63/100 = 2.318$
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Ra $Ra = (\text{単位混和材量kg/m}^3) \times (\text{混和材中の全アルカリ量:\%/100})$	②=Ra	—	
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rs $Rs = (\text{単位骨材量kg/m}^3) \times 0.53 \times (\text{骨材中のNaClの量:\%/100})$	③=Rs 0.009	—	$Rs1 = 360 \times 0.003 \times 0/100 = 0.000$ $Rs2 = 540 \times 0.53 \times 0.003/100 = 0.009$ $Rs = Rs1 + Rs2 = 0.009$
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rm $Rm = (\text{単位混和剤量kg/m}^3) \times (\text{混和剤中の全アルカリ量:\%/100})$	④=Rm 0.013	—	$Rm = 1.656 \times 0.8/100 = 0.013$
流動化剤を添加する場合は、 コンクリート中の流動化剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rp r) $Rp = (\text{単位流動化剤量kg/m}^3) \times (\text{流動化剤中の全アルカリ量:\%/100})$	⑤=Rp	—	
コンクリート中のアルカリ総量(kg/m ³) Rt $Rt = ① + ② + ③ + ④ + ⑤$	Rt 2.340	3.0 kg/m ³ 以下	適

注 a) 本配合の適用期間に加え、標準配合、又は修正標準配合の別を記入する。

なお、標準配合とは、レディーミクストコンクリート工場で社内標準の基本にしている配合で、標準状態の運搬時間における標準期の配合として標準化されているものとする。また、修正標準配合とは、出荷時のコンクリート温度が標準配合で想定した温度より大幅に相違する場合、運搬時間が標準状態から大幅に変化する場合、若しくは、骨材の品質が所定の範囲を超えて変動する場合に修正を行ったものとする。

b) 表B.1の記号欄の記載事項を、そのまま記入する。

c) 配合設計に用いた材料について記入する。

d) ポルトランドセメント及び普通エコセメントを使用した場合に記入する。JIS R 5210の全アルカリの値としては、直近6か月間の試験成績表に示されている、全アルカリの最大値の最も大きい値を記入する。

e) 最新版の混和材試験成績表の値を記入する。

f) アルカリシリカ反応性による区分、及び判定に用いた試験方法を記入する。

g) 細骨材に対しては、砕砂、スラグ骨材、人工軽量骨材、及び再生細骨材Hでは粒の大きさの範囲を記入する。粗骨材に対しては、砕石、スラグ骨材、人工軽量骨材、及び再生粗骨材Hでは粒の大きさの範囲を、砂利では最大寸法を記入する。

h) 細骨材に対しては粗粒率の値を、粗骨材に対しては、実積率又は粗粒率の値を記入する。

i) 砕石及び砕砂を使用する場合に記入する。

j) 最新版の混和剤試験成績表の値を記入する。

k) 最新版の骨材試験成績表の値(NaClとして)を記入する。

l) 回収水のうちスラッジ水を使用する場合は、“回収水(スラッジ水)”と記入する。

m) スラッジ水を使用する場合に記入する。目標スラッジ固形分率とは、3%以下のスラッジ固形分率の限度を保証できるように定めた値である。

n) 人工軽量骨材の場合は、絶対乾燥状態の質量で、その他の骨材の場合は表面乾燥飽水状態の質量で表す。

o) 高炉スラグ微粉末などを結合材として使用した場合にだけ記入する。

p) 全骨材の質量に対する各骨材の計量設定割合をいう。

q) コンクリート中のアルカリ総量を規制する抑制対策の方法を講じる場合にだけ別表に記入する。

r) 購入者から通知を受けたアルカリ量を用いて計算する。

配合計算書

配合の設計条件					
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スラブ又はスラブフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
	普通	27	18	20	N
指定事項					
(1)標準偏差(σ)			当工場の実績により $\sigma = 3.14 \text{ N/mm}^2$		
(2)配合強度(m)			$m = 0.85 \cdot S_L + 3 \cdot \sigma = 32.4 \text{ N/mm}^2$ $m = S_L + 1.73 \cdot \sigma = 32.4 \text{ N/mm}^2$ よって $m = 32.4 \text{ N/mm}^2$		
(3)水セメント比(W/C)			$m = -23 + 28.1 \times C/W$ $W/C = 28.1 \div (32.4 + 23) \times 100 = 50 \%$ W/C = 50 %		
(4)単位水量(W)			当工場の実績により W = 184 kg/m ³		
(5)単位セメント量(C)			$C = W \div (W/C) \times 100 = 184 \div 50 \times 100 = 368 \text{ kg/m}^3$ $C_v = C \div \text{密度} = 368 \div 3.16 = 116 \text{ l/m}^3$		
(6)空気量(A)			A = 4.5 % × 1000 = 45 l/m ³		
(7)単位粗骨材量(G)			当工場の実績により かさ容積 = 0.540 m ³ /m ³ 実積率 = 60.0 % $G_v = 0.540 \times 1000 \times 60.0 \div 100 = 324 \text{ l/m}^3$ $G = G_v \times \text{表乾密度} = 324 \times 3.07 = 995 \text{ kg/m}^3$ $G1 = G \times 50.0 \% = 498 \text{ kg/m}^3$ $G2 = G \times 50.0 \% = 497 \text{ kg/m}^3$		
(8)単位細骨材量(S)			$S_v = 1000 - (W + C_v + G_v + A) = 1000 - 669 = 331 \text{ l/m}^3$ $S = S_v \times \text{表乾密度} = 331 \times 2.72 = 900 \text{ kg/m}^3$ $S1 = S \times 40.0 \% = 360 \text{ kg/m}^3$ $S2 = S \times 60.0 \% = 540 \text{ kg/m}^3$		
(9)細骨材率(s/a)			$s/a = S_v \div (G_v + S_v) \times 100 = 50.5 \%$		
(10)単位混和剤量(Ad)			$Ad = C \times \text{添加率} \times \text{密度} = 368 \times 0.4500 \% \times 1.00 = 1.656 \text{ kg/m}^3$		

配合表 kg/m³

セメント	混和材		水	細骨材			粗骨材				混和剤		
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
368	—	—	184	360	540	—	498	497	—	—	1.656	—	—
水セメント比	50 %		細骨材率	50.5 %		骨材混合比 (質量混合)	細骨材①:② 粗骨材①:②				40.0:60.0 50.0:50.0		

備考

配合計算書

配合の設計条件					
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スラブ又はスラブフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
	普通	27	18	20	※
指定事項					
(1) 標準偏差(σ) 当工場の実績により $\sigma = 3.14 \text{ N/mm}^2$					
(2) 配合強度(m) $m = 0.85 \cdot S_L + 3 \cdot \sigma = 32.4 \text{ N/mm}^2$ $m = S_L + 1.73 \cdot \sigma = 32.4 \text{ N/mm}^2$ よって $m = 32.4 \text{ N/mm}^2$					
(3) 水セメント比(W/C) $m = -23 + 28.1 \times C/W$ $W/C = 28.1 \div (32.4 + 23) \times 100 = 50 \%$ $W/C = 50 \%$					
(4) 単位水量(W) 当工場の実績により $W = 184 \text{ kg/m}^3$					
(5) 単位セメント量(C) $C = W \div (W/C) \times 100 = 184 \div 50 \times 100 = 368 \text{ kg/m}^3$ $C_v = C \div \text{密度} = 368 \div 3.16 = 116 \text{ l/m}^3$					
(6) 空気量(A) $A = 4.5 \% \times 1000 = 45 \text{ l/m}^3$					
(7) 単位粗骨材量(G) 当工場の実績により かさ容積 = $0.540 \text{ m}^3/\text{m}^3$ 実積率 = 60.0% $G_v = 0.540 \times 1000 \times 60.0 \div 100 = 324 \text{ l/m}^3$ $G = G_v \times \text{表乾密度} = 324 \times 3.07 = 995 \text{ kg/m}^3$ $G1 = G \times 50.0 \% = 498 \text{ kg/m}^3$ $G2 = G \times 50.0 \% = 497 \text{ kg/m}^3$					
(8) 単位細骨材量(S) $S_v = 1000 - (W + C_v + G_v + A) = 1000 - 669 = 331 \text{ l/m}^3$ $S = S_v \times \text{表乾密度} = 331 \times 2.72 = 900 \text{ kg/m}^3$ $S1 = S \times 40.0 \% = 360 \text{ kg/m}^3$ $S2 = S \times 60.0 \% = 540 \text{ kg/m}^3$					
(9) 細骨材率(s/a) $s/a = S_v \div (G_v + S_v) \times 100 = 50.5 \%$					
(10) 単位混和剤量(Ad) $Ad = C \times \text{添加率} \times \text{密度} = 368 \times 0.4500 \% \times 1.00 = 1.656 \text{ kg/m}^3$					

配合表 kg/m^3												
セメント	混和材		水	細骨材			粗骨材				混和剤	
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②
368	—	—	184	360	540	—	498	497	—	—	1.656	—
水セメント比	50 %		細骨材率	50.5 %			骨材混合比 (質量混合)	細骨材①:②		40.0:60.0		
								粗骨材①:②		50.0:50.0		

備考

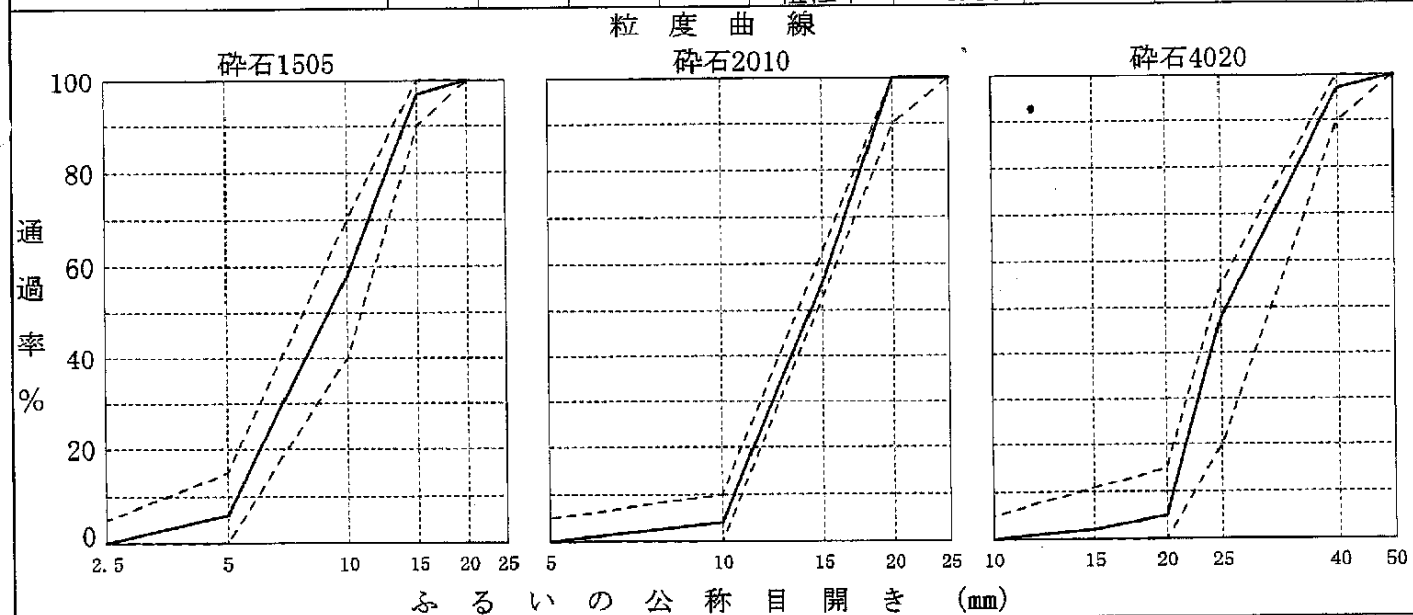
■ 骨材試験成績書 ■

平成27年 1月度

福岡県みやま市瀬高
株式会社 株式会社
株式会社 株式会社
株式会社 株式会社
株式会社 株式会社

	産地品名	骨材名称	品質管理 担当者
骨材①	熊本県玉名郡和水町産	碎石1505	品質管理 担当者
骨材②	熊本県玉名郡和水町産	碎石2010	品質管理 担当者
骨材③	熊本県玉名郡和水町産	碎石4020	品質管理 担当者
骨材④			

試験項目	骨材①	骨材②	骨材③	骨材④	ふるい分け試験 (通過率%)
最大寸法 (mm)	15	20	40		ふるい (mm) 碎石1505 碎石2010 碎石4020
表乾密度 (g/cm ³)	3.06	3.07	3.09		150
絶乾密度 (g/cm ³)	3.04	3.05	3.08		100
吸水率 (%)	0.79	0.48	0.40		80
微粒分量 (%)	0.77	0.55	0.39		60
粘土塊量 (%)	-	-	-		50
粒形判定実積率 (%)	-	59.5	-		40
有機不純物 (標準色よりも)	-	-	-		30
塩化物量 (%)	-	-	-		25
安定性 (%)	3.8	0.2	0.1		20
密度1.95に浮く粒子 (%)	-	-	-		15
すりへり減量 (%)	12.5	9.9	8.8		10
軟らかい石片 (%)	0.0	0.0	0.0		5
					2.5
					1.2
					0.6
					0.3
					0.15
					粗粒率
					6.36 6.96 7.98



備考:

安定性、すりへり減量、軟らかい石片の試験値は、1回以上/1年の値である。

■ 骨材試験成績書 ■

平成27年 1月度

福岡県みやま市瀬高町内1938-1

株式会社五箇平秋商店

瀬高平秋商店

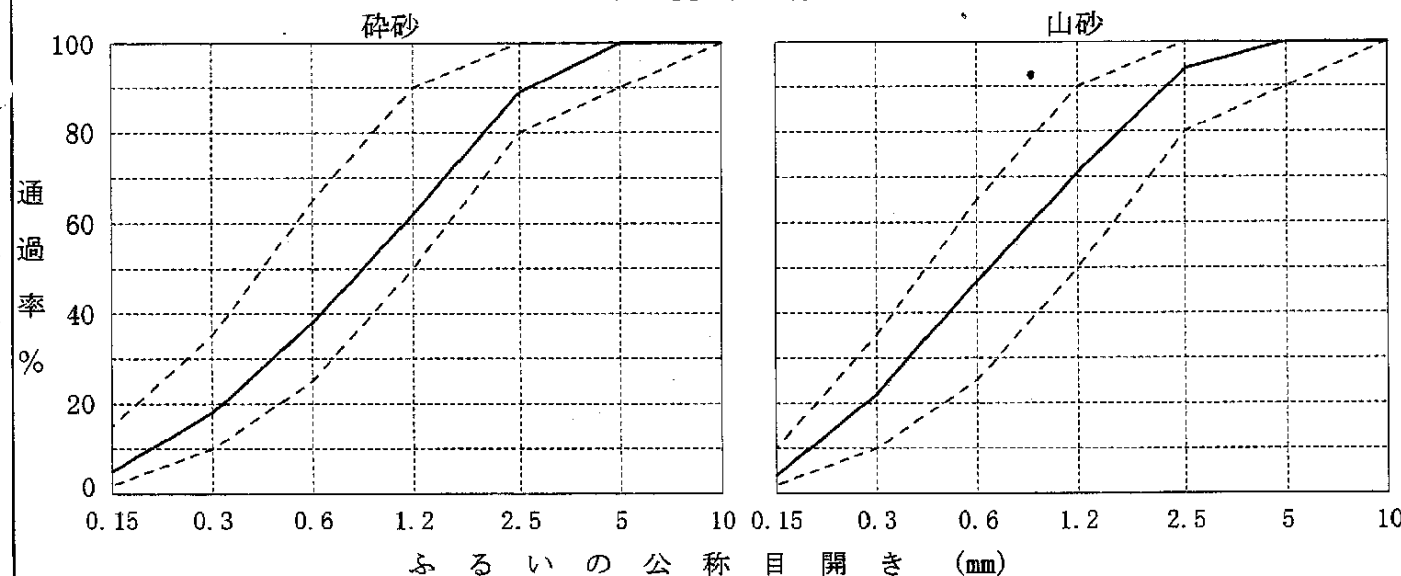
品質管理 担当者



	産地品名	骨材名称
骨材①	熊本県玉名郡和水町産	砕砂
骨材②	熊本県玉名郡南関町産	山砂
骨材③		
骨材④		

試験項目	骨材①	骨材②	骨材③	骨材④	ふるい分け試験 (通過率%)			
最大寸法 (mm)	5	5			ふるい (mm)	砕砂	山砂	
表乾密度 (g/cm ³)	3.00	2.56			150			
絶乾密度 (g/cm ³)	2.97	2.51			100			
吸水率 (%)	1.14	2.07			80			
微粒分量 (%)	3.81	1.33			60			
粘土塊量 (%)	-	0.07			50			
粒形判定実積率 (%)	55.1	-			40			
有機不純物 (標準色よりも)	-	淡い			30			
塩化物量 (%)	-	0.001			25			
安定性 (%)	1.0	1.4			20			
密度1.95に浮く粒子 (%)	-	0.0			15			
すりへり減量 (%)	-	-			10	100	100	
軟らかい石片 (%)	-	-			5	100	100	
					2.5	89	94	
					1.2	62	71	
					0.6	38	47	
					0.3	18	22	
					0.15	5	4	
					粗粒率	2.88	2.62	

粒度曲線



備考:

有機不純物、塩化物量、安定性、密度1.95に浮く粒子試験は、1回以上/1年の結果である。

セメント試験成績表



太平洋セメント株式会社

平成 27 年 1 月 度

種 類 品 質		普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高 炉 セ メ ン ト B 種 JIS R 5211			
		J I S 規格値	試 験 成 績			J I S 規格値	試 験 成 績			J I S 規格値	試 験 成 績		
			平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)
密 度 g/cm³		—	3.16	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—
比 表 面 積 cm²/g		2500 以上	3380	84	—	3300 以上	4470	90	—	3000 以上	3740	87	—
凝 結	水 量 %	—	27.0	—	—	—	29.4	—	—	—	28.2	—	—
	始 発 h-min	60min以上	2-11	—	(1-55)	45min以上	1-53	—	(1-30)	60min以上	2-47	—	(2-25)
	終 結 h-min	10h 以下	3-16	—	4-15	10h 以下	2-49	—	3-10	10h 以下	4-28	—	5-40
安 定 性	パ ッ ト 法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧 縮 強 さ N/mm²	1 d	—	—	—	—	10.0 以上	23.6	1.60	—	—	—	—	—
	3 d	12.5 以上	31.1	1.61	—	20.0 以上	47.5	1.72	—	10.0 以上	22.5	1.23	—
	7 d	22.5 以上	47.1	1.73	—	32.5 以上	57.6	1.84	—	17.5 以上	38.6	1.74	—
	28d	42.5 以上	62.5	1.84	—	47.5 以上	67.2	1.96	—	42.5 以上	63.6	1.95	—
水 和 熱 J/g	7 d	—	334	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28d	—	387	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
化 学 成 分 %	酸化マグネシウム	5.0 以下	1.36	—	1.79	5.0 以下	1.28	—	1.51	6.0 以下	3.44	—	3.78
	三 酸 化 硫 黄	3.5 以下	2.15	—	2.48	3.5 以下	3.07	—	3.22	4.0 以下	2.11	—	2.50
	強 熱 減 量	5.0 以下	2.23	—	2.60	5.0 以下	1.50	—	1.66	5.0 以下	2.02	—	2.53
	全 アル カ リ	0.75 以下	0.54	—	0.63	0.75 以下	0.54	—	0.56	—	—	—	—
	塩化物イオン	0.035 以下	0.018	—	0.025	0.02 以下	0.004	—	0.005	—	0.014	—	—

備 考

試験方法はJIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203及びJIS R 5204による。
28 d 圧縮強さ及び28 d 水和熱は前月度の値を示す。

全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大の値

普通ポルトランドセメント 0.63 %

早強ポルトランドセメント 0.58 %

高炉セメントB種

ベースセメントの全アルカリ 0.54 %

高炉スラグの分量 40～45 %

お問い合わせその他のご連絡先

太平洋セメント株式会社 九州支店 技術

☎812-0018 福岡市博多区住吉 1-2-2

キャナルシティビジネスセンタービ

☎ 092-263-84

〒 835-0014 (72000)

福岡県みやま市瀬高町河内193

8-1

瀬江崎千秋商店 瀬高生コン工場

御中

種 類 AE減水剤 標準形 (I種)

商品名 チューボールEX50

〒443-86

竹本

(0



2番5号

会社

118

1. コンクリートの試験結果

項 目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減 水 率 %	1 0以上	1 3	1 3	
	ブリーディング量の比 %	7 0以下	5 2	—	
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^3	—	—	—	
	凝結時間の差 分	始 発	- 6 0 ~ + 9 0	+ 5	+ 2 0
		終 結	- 6 0 ~ + 9 0	± 0	+ 1 5
	経時変化量	スランプ cm	—	—	—
空 気 量 %		—	—	—	
硬化コンクリート	圧 縮 強 度 比 %	材 齢 1 日	—	—	
		材 齢 2 日 (5℃)	—	—	
		材 齢 7 日	1 1 0 以上	1 1 9	1 2 1
		材 齢 28 日	1 1 0 以上	1 1 3	1 1 6
	長 さ 変 化 比 %	1 2 0 以下	9 7	—	
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		6 0 以上	9 3	—

注記1 1 m^3 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 0.75 kg/ m^3 性能確認試験 0.75 kg/ m^3

注記2 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、平成26年12月の試験結果である。

ただし、圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、平成26年12月の試験結果である。

注記3 この表に表示している形式評価試験は、平成23年1月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン (Cl^-) 量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の 含有量	1 m^3 当たりの 化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン (Cl^-) 量	0.02 kg/ m^3 以下	0.00 kg/ m^3	0.00 %	0.75 kg/ m^3	0.00 kg/ m^3
全アルカリ量	0.30 kg/ m^3 以下	0.01 kg/ m^3	1.9 %	0.75 kg/ m^3	0.01 kg/ m^3

注記1 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、平成26年12月の試験結果である。

注記2 この表に表示している形式評価試験は、平成23年1月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

3. チューボールEX50 (40%溶液) の品質

化学混和剤中の含有量		密度 (g/ cm^3 , 20℃)	
塩化物イオン (Cl^-) 量	全アルカリ量	規格値	試験値
0.00 %	0.8 %	1.03 ~ 1.05	1.038

注 記 この表に表示している試験値は、平成26年12月の試験結果である。



070247JP

骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

発行年月日	平成26年10月1日
受付年月日	平成26年9月5日
受付番号	B1409005

(ISO/IEC17025 登録試験所)

株 会 社
建設コンサルティング
部 長 杉山 嘉則

三加和鉱山株式会社三加和工場 御中

試験結果を以下に報告します。

試験の名称		骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)					
件 名		品質管理試験					
依頼者	会 社 名	三加和鉱山株式会社三加和工場					
	所 在 地	熊本県玉名郡和水町上十町字山下1202番地の1					
試料	種 類	砕石・砕砂(はんれい岩) 砕石2005(代表試料)					
	産 地	熊本県玉名郡和水町上十町字山下1202番地の1					
	採取場所	熊本県玉名郡和水町上十町字山下1202番地の1					
	採取者	斉藤 勝彦					
	採取日	平成26年9月5日					
試験実施期間		平成26年9月17日 ~ 平成26年9月22日					
試験方法		JIS A 1145「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」に準じて試験を行った。 なお、溶解シリカ量は質量法により測定した。					
試験結果	試験項目	測定結果				判定基準	判定
	(mmol/L)	1	2	3	平均	※単位:mmol/L	
	アルカリ濃度減少量 (Rc)	25	28	28	27	a) Scが10以上で、Rcが700未満の範囲では、ScがRc未満となる場合は“無害”。 ScがRc以上となる場合は“無害でない”。	
	溶解シリカ量 (Sc)	12	12	12	12	b) Scが10未満で、Rcが700未満の場合は“無害”。 c) Rcが700以上の場合は判定しない。	a) 無 害
試験場所		株式会社麻生 建設コンサルティング事業部 試験所グループ 福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原2648番地 TEL(092)624-1305 FAX(092)624-1308					
試験担当者		技術管理責任者 吉瀬 寛 試験担当者 森 啓一郎					

本書は原本と相違ないことを証明し

福岡県みやま市瀬高町

河内1938-1

江崎千

335 0014

0944



骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)報告書

試験番号 : NSK 140053- 1

発行日 : 2014年08月19日

株式会社 熊本硅砂鉱業

殿

熊本県玉名郡南関町大字下坂下4777

長崎県生コンクリート工業組合

島原南高技術センター

(全生工組連第43号認定共同試験場)

長崎県南島原市深津町638番地4

承認署名者 所長 藤田 信芳



ご依頼の試料に対する試験結果を下記の通り報告します。

○

- (1) 試験年月日 2014年08月19日
- (2) 骨材の種類(*) 山 砂(洗砂)
- (3) 産 地(*) 熊本県玉名郡南関町大字下坂下
- (4) 採取場所(*) 同上
- (5) 採取年月日(*) 2014年07月28日
- (6) 試料の受領日 2014年07月29日 (依頼者持込み)
- (7) 試験規格 JIS A 1145 : 2007 による。
全国生コンクリート工業組合連合会の認定試験項目

(8) 試験結果

(単位 : mmol/L)

測定項目 \ 実験数	1	2	3	平均値
アルカリ濃度減少量 (Rc)	91	88	88	89
溶解シリカ量 (Sc) (原子吸光光度法)	23	22	21	22

- (9) 判定基準 : 判定は、測定項目における試験結果の平均値を用いて行い、次による。
 - a)溶解シリカ(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲
 $Sc < Rc$: 無害 $Sc \geq Rc$: 無害でない
 - b)溶解シリカ(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲
 無害
 - c)アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の範囲
 判定しない(判定適用範囲外)

(10) 判 定 無 害

— 備 考 —

担当者氏名 白 倉 純 一



本書は原本と相違ないことを証明します

福岡県みやま市瀬高町

河内1938-1

江崎 千之秋商店

335 0014

094 446 7891

副本 練混ぜに用いる水質試験報告書

試験番号 NSW145086-1
2014年06月19日

長崎県生コンクリート工業組合
島原南高技術センター
(全生工組連第43号認定共同試験場)
長崎県南島原市深江町戊638番地4
承認署名 所長 藤田 信芳

株式会社 江崎千秋商店
1.顧客の名称 瀬高生コン工場 殿
及び住所 福岡県みやま市瀬高町河内1938-1

2.試験方法 JIS A 5308 : 2014 附属書Cによる
全国生コンクリート工業組合連合会の認定試験項目

3.試料の 2014年05月19日 (依頼者持込)
受領日

試 験 年 月 日			2014年05月21日 ~ 2014年06月18日	
試 料	試 験 水 の 種 類 (*)		回収水（上澄水）✓	
	採 取 年 月 日 (*)		2014年05月17日 ✓	
	採 取 場 所 (*)		福岡県みやま市瀬高町河内1938-1 ✓	
懸濁物質の量 (g/L)			----	----
溶解性蒸発残留物の量 (g/L)			----	----
塩化物イオン(Cl ⁻)量 (mg/L)			54.4 ✓	JIS規格値 200mg/L以下
凝 結 時 間 の 差	種 類		基 準 水	回 収 水（上澄水）
	始 発 時 間		2 時 間 7 分 ✓	2 時 間 6 分
	始 発 時 間 の 差		1 分 ✓	
	終 結 時 間		3 時 間 35 分 ✓	3 時 間 31 分
	終 結 時 間 の 差		4 分 ✓	
	規 格 値		始発は30分以内、終結は60分以内	
圧 縮 強 さ の 比	7 日	圧 縮 強 さ	45.2 N/mm ²	45.4 N/mm ² ✓
		圧縮強さの比	100 % ✓	
	28 日	圧 縮 強 さ	61.3 N/mm ²	61.4 N/mm ² ✓
		圧縮強さの比	100 % ✓	
(A法)	規 格 値		材齢7日及び材齢28日で 90 %以上	
備考				

- a. 本報告書は、記載の試料についてのみに関する試験結果です。
b. 事前の承認なしに、この報告書のカラーコピー又は一部のみを複製して使用する事を禁じます。
c. (*)は、顧客の提出資料によるものです。

副本 練混ぜに用いる水質試験報告書

試験番号 NSW145087-1
2014年06月19日

長崎県生コンクリート工業組合
島原南高技術センター
(全生工組連第43号認定共同試験場)
長崎県南島原市深江町成633番地4
承認署名 所長 藤田 信芳

1.顧客の名称 株式会社 江崎千秋商店 殿
及び住所 瀬高生コン工場
福岡県みやま市瀬高町河内1938-1

2.試験方法 JIS A 5308 : 2014 附属書Cによる
全国生コンクリート工業組合連合会の認定試験項目

3.試料の 2014年05月19日 (依頼者持込)
受領日

試 験 年 月 日			2014年05月21日 ~ 2014年06月18日	
試 料	試 験 水 の 種 類 (*)		地 下 水 ✓	
	採 取 年 月 日 (*)		2014年05月17日 ✓	
	採 取 場 所 (*)		福岡県みやま市瀬高町河内1938-1 ✓	
懸濁物質の量 (g/L)		0.0 ✓	JIS規格値 2 g/L 以下	
溶解性蒸発残留物の量 (g/L)		0.5 ✓	JIS規格値 1g/L以下	
塩化物イオン(Cl-)量 (mg/L)		69.6 ✓	JIS規格値 200mg/L以下	
凝 結 時 間 の 差	種			

- a. 本報告書は、記載の試料についてのみに関する試験結果です。
b. 事前の承認なしに、この報告書のカラーコピー又は一部のみを複製して使用する事を禁じます。
c. (*)は、顧客の提出資料によるものです。

[illegible]

認 証 書

(認証番号) GB0807279

株式会社江崎千秋商店

代表取締役 江崎 千草 殿

福岡県柳川市三橋町柳河 728 番地の 1

工業標準化法第 19 条第 1 項の規定により日本工業規格の表示について下記のとおり
認証します。

記

1. 鋳工業品の名称 : レディーミクストコンクリート
2. J I S 規格番号、名称及び : J I S A 5308 レディーミクストコンクリート
J I S の種類又は等級 普通コンクリート・舗装コンクリート
3. 認証の区分 : 同 上
4. 工場の名称及び所在地 : 株式会社江崎千秋商店 瀬高生コン工場
福岡県みやま市瀬高町河内 1938-1

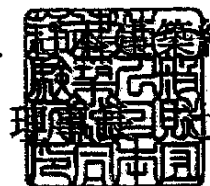
(認 証 日) 平成 20 年 3 月 12 日

(再発行日) 平成 26 年 2 月 26 日



大阪府吹田市藤白台五丁目 8 番 1 号

一般財団法人 建築総合試験所



文





登録番号 21301814

有効期限 2017年3月31日

登録証

コンクリート主任技士

氏名 池田 寛

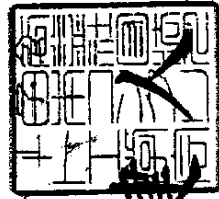
生年月日 1953年8月11日

合格番号 00285034

本学会コンクリート技士制度規則にもとづき上記のとおり
コンクリート主任技士として登録したことを証します

2013年3月31日

公益社団法人 日本コンクリート



会長

魚本 健人

第25G16号

品質管理監査合格証

株式会社江崎千秋商店
瀬高生コン工場 殿

貴工場は福岡県生コンクリート品質管理監査会議が平成25年度に実施した立入監査の結果全国統一品質管理監査基準に適合しているものと判定しここに合格証を交付する

記

有効期間 自平成26年4月 1日
至平成27年3月31日

平成25年12月9日

福岡県生コンクリート品質管理
議長 添田 政

